



栃木市立大平東小学校
学校だより 第10号
令和7年2月10日
学校長 新村 勲



日々の学校の様子や行事予定をホームページに掲載しています。ご覧ください。



【学校の教育目標】やさしい子 考える子 たくましい子

伝統を受け継ぐ子供たち

2校時終了後の「いきいきタイム」の時間に「おはやし引継ぎ練習」を行っています。運動会で行う「東小ふれあい音頭」のおはやしや踊りを6年生が5年生・4年生に教えています。6年生がやさしく丁寧に教え、5年生・4年生は素直に聞いて上達しようと前向きに取り組んでいます。

大太鼓・締太鼓・あたりがね・横笛・大つづみ・小つづみ・歌(東小ふれあい音頭)・かさ踊り・石投げ踊り、それぞれの場所で自主的に練習しています。

西門で朝のあいさつをしていると横笛を持って登校する5年生・4年生がいます。「家で練習している」と言うのです。

伝統を受け継いでいこうとする意志が伝わってきます。頼もしく感じます。

本校には、1年生から6年生の縦割り班「なかよし班」があり、一緒に遊んだり、清掃したりしています。年間を通して「なかよし班」で様々な活動をしています。

2月になり、1～5年生が「なかよし班」で集まって、6年生を送る会のプレゼントを作成しています。プレゼントには、なかよし班の写真をはり、1～5年生のメッセージも入れます。

6年生がいない「なかよし班」では5年生がリーダーとなり、1～4年生に説明したり教えたりしています。

このように、5年生が班をまとめていく経験を通して、進んで準備や片付けをするなど最上級生としての自覚や責任ある行動が見られるようになります。

本校の「なかよし班」は文字どおり“なかよし”なのです。本校のよさであり伝統でもあります。

清掃もこの「なかよし班」で行っています。上学年の子が下学年の子にやさしく教えたり、手伝ったりする場面を多く見かけます。

2月の清掃班会議では、6年生だけでなく5年生も参加しました。6年生が5年生に清掃カードの書き方を教えたり、班長としての役割などを伝えたりしました。



6年生が太鼓のたたき方のコツを5年生に教えています。



5年生が、かさ踊りの踊り方を4年生に教えています。



5年生がリーダーとなり、1～4年生に教えています。



6年生が清掃カードの書き方や班長としての役割を5年生に伝えています。

登校班も班長・副班長を中心に安全に気を付けて登下校しています。

このように、異年齢でなかよく活動することができる子供たちなので、昼休みや休み時間にも学年が違う子と遊んだり交流したりする場面が多く見られます。

大きい子供は小さな子供をいたわり、守る。小さな子供は大きな子供に感謝し、憧れる。そんな関わりの中で、人として必要な社会性の基礎がゆつくりと育まれていくのでしょうか。

学校は教室の中で授業や活動をする時間がほとんどです。同年齢と関わる時間が長いので、このような異年齢の活動を大切にしていきたいと思います。



2月6日(木)から会議室で、6年生と一緒に給食を食べています。

一人一人に将来の夢やこれまでの思い出などについて話してもらったり、私が小学校や中学校のときの昔話をしたりして、楽しく会食しています。「ごちそうさま」の前に、この一年間よき伝統を受け継ぎ学校を支えてきた6年生に、校長として労いの言葉と感謝の言葉を直接伝えています。もうすぐ卒業式です。卒業生一人一人にしっかりと卒業証書を手渡したいと思います。

来年度の運動会の時期(5月)と日課表(下校時刻)の変更について

例年、運動会は10月に実施してきたのですが、来年度は5月21日(水)に実施する予定です。変更になった主な理由や経緯は以下のとおりです。

- ①来年度は、宿泊学習が9月末から11月に集中していること。
- ②例年行っていた10月だと延期になった場合、大平中の行事と重なってしまうこと。
- ③大平地区の行事調整会議での調整や校内の会議での検討を経て、5月実施が適切であると判断したこと。大平西小も同様に5月21日(水)実施予定。大平中は5月30日(金)実施予定。

また、日課表の見直しを行いました。朝の会と1校時の間にあった「朝の活動」をカットするなどして、下校時刻が20分程度早くなる予定です。

なお、この件に関しては1月の学校運営協議会においても承認されました。また、2月のPTA本役員会においてもご説明いたしました。どうぞご理解・ご協力をお願いいたします。

◆地域の方から感想が寄せられました。ご紹介いたします。(原文のまま)

お疲れ様です。「東山」学校だより、ホームページ見させていただいています。学校の様子、子どもたちの様子が具体的によく分かります。特に、今回の東山第8号では、東山研究会の取り組みが書かれており、1年生の国語、5年生の体育の授業の様子が具体的に分かり、素晴らしい取り組みをしていることを実感しました。また、情報モラル教育を全校生に意図的に実践している取り組みを知りました。SNS等ネットによる誹謗中傷が社会問題、人権問題となっています。この情報モラル教育は、人権教育でもあり、人権尊重の精神を育み、様々な差別意識の解消に繋がるのではないかと思います。これからも大平東小の取り組みを見させていただくのが楽しみです。よろしくお願いいたします。(メールアドレスが入力されていたので次のように返信しました)

【校長より】ご丁寧な感想をお送りいただき、ありがとうございます。学校だよりやホームページを見ていただけるだけでもありがたいと思っています。このように返信をいただけると、うれしく思います。おかげさまで、本校の教職員・家庭・地域の方々のおかげで、素直で真面目な子供たちが育っています。〇〇様のような方が地域におられることは大変心強いです。このような双方向のやり取りを家庭・地域の方と行っていききたいと思っています。今後どうぞよろしくお願いいたします。

私からの一方向ではなく、双方向になればよいと思っております。
「学校だより」やホームページ等へご感想・ご意見はこちらから。

